

信栄食品 緑色のギョーザ



皮にホウレンソウを練り込み、山雅のチームカラーの緑色にした

冷凍食品製造の信栄食品（長野県松本市、神倉

藤男社長）は地元のスッカイチームにちなんだギョーザを開発した。皮にホウレンソウの粉を練り込んでチームカラーの緑色にし、県産の具材を使用した。神倉社長は「チームの上昇とともに、会社の知名度も上昇してい

ボールリーグ（JFL）の松本山雅FCのスタジアムパナースポんサーになった。松本山雅はJリーグ昇格を目指し、元日本代表の松田直樹選手を獲得するなど戦力補強を進めており、地域での人気は高い。

信栄食品はこれまでスーパーなどへの卸売りがほとんどで「自社の知名度はいまいち」（神倉社



松本山雅と連携、成長狙う

長）だった。昨年から直営店やネット通販を通じて自社販売にも乗り出し、山雅とともに成長する戦略を描く。

3月13日の開幕戦に合わせ発売する「松本山雅ギョーザ」は、中華料理「翡翠（ひすい）ギョーザ」を参考に開発した。

皮の緑でチームカラーを表し、豚肉やニラなど多くの県内産食品を使用している。「地域全体で応援している」という機運を盛り上げられれば」（神倉社長）という。

ホームゲームの日はス

▽問い合わせ先 026 3・26・6261
▽価格 8個入りで300円



長野

長野 026
松本 026